

事務事業実績測定調査

R5調書番号 793

事務事業名称	債権回収対策事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	市民生活部			課	債権回収課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	○	R5
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	庶務的事務	区分	非選択的事務事業
事業期間	2013(H25)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法、民法、枚方市債権管理及び回収に関する条例及び規則等				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	債権回収を行う債権所管部署、当該債権の滞納者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	回収困難事案の滞納者がターゲットなので、回収業務が難しい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各債権の回収率が高水準で維持されている。				
事業概要	・市債権の公平・公正な債権の管理及び回収を適正かつ迅速に進めることを目的に設置した「市債権管理・回収対策委員会」の事務運営を行う。 ・債権回収に係る調査研究、企画、立案及び総合調整に関する事務を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						債権管理・回収のあり方や債権各課による徴収実績や次年度の取り組み報告の情報共有により、公平・公正な債権回収の適正かつ迅速な執行につなげる。				円滑な委員会運営となるよう、委員会開催前に各債権担当課長で構成する幹事会を実施する。			
指標設定	指標説明					市債権管理・回収対策委員会の開催回数				各債権担当課長で構成する幹事会の開催数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)				2	2	3	3	2	2	3	3
		実績				1	2	3	3	2	2	4	3
	達成度						100%				100%		

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.45
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	2.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)			
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額 (参考) 予算執行率
歳出	人件費				
	正職員、再任用、任期付	37,321	76,167	3,553	
	会計年度任用職員	618	766	0	
	特別職非常勤	3,160	3,064	3,059	
	附属機関委員	0	0	0	
	人件費計	41,099	79,997	6,612	
	物件費計	460	593	94	148 63.5%
歳出計		41,559	80,590	6,706	
歳入	国庫支出金	0	0	0	0 ※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	その他	0	0	0	0
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0
一般財源（物件費に充当されるもの）		460	593	94	148

5. 総括的分析

総括的分析	債権各課の取組目標や実績の報告、債権管理・回収のあり方などの情報共有の場として市債権管理・回収対策委員会を3回開催した。また、債権各課の実務担当者を対象に弁護士職員を講師としたリーガル研修を実施し、令和5年5月に制定した「枚方市債権管理・回収マニュアル」の活用や現状課題となっている事項や処理困難事案なども例に挙げ意見交換会を実施した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も債権管理・回収を適正かつ迅速に進めていくため、市債権管理・回収対策委員会の円滑な運営ができるよう努めていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 862

事務事業名称	債権回収課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	市民生活部			課	債権回収課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外							
	施策目標		99.施策体系外							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2013 (H25) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	債権回収課職員・職場			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題				
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	債権回収課の各事業が円滑に運営できる状態。				
事業概要	＜債権回収課運営事務＞ 課の運營業務(庶務的事務) ① 債権回収課の賃金、休暇、人事、服務に関する事務 ②消耗品等の物品契約及び整理 ③ 債権回収課の予算、決算に関する事務保守等の事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,964	3,906	1,579		
	会計年度任用職員	252	312	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,216	4,218	1,579		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		2,216	4,218	1,579		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	債権回収課運営の各事務(庶務的事務)を円滑に行うことができた。
-------	---------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も業務の進捗状況等の情報共有を行い、円滑に進めていく。